（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	外部の社労士を相談窓口として設置し、スタッフ向けの社内窓口として女性役員を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に明記し、女性の相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法の順守(36協定) タイムカードの設置による時間管理、生産性向上の取り組みとして、自動化設備の積極的導入･マニュアル整備を実施								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現時点では雇用は行っていないが、採用には前向き。2019年2名は採用を出したが、採用できず。雇用にあたっては、差別･人権侵害のない労働環境を整備する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	手順書、イノベーションカードの設置により、日々環境改善、工程改善を行い続けている。 消防講習、食品衛生講習会は毎年行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	雇用契約書、労務規定に即した職場環境の維持に努めている。 年間のレクリエーション予定を計画している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	厨房にベビーベット、旅館の一室をキッズルームとして、子育て中のママの子連れ出勤可とし、在宅ワーク、短時間労働等を受け入れている。 シルバーの雇用も積極的に行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	月1回のスタッフ持ち回り企画の勉強会を実施し、スキル教育として、マイホーム貯金術や、メンタルヘルス研修等を行っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートさんに関しては、年次毎に給与のベースアップを行っている。 2020年5月より業績考課制度の導入を計画している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	協会けんぽの健康診断くらいしか行っていません。 スポーツクラブの法人契約を行う予定(コロナの影響で現在導入見送り予定)			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	生ゴミは分別し、鶏に与えたり、廃油はリサイクル業者様に引き取っていただき軽油にリサイクルしています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	日々の日報に水光熱費使用量をエクセル入力し、無駄なエネルギー消費を行わないように意識づけを行っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	節水シャワーヘッドへの交換(2018年)、LED照明への切り替え(2016年)、自販機撤去、お風呂の満水時止水弁設置(2019年)等継続的に改善を続けている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	蛍光灯は切れる度にLEDに切り替え交換を行い、農薬は果樹を除き一切不使用。 スーパー等の仕入れから農家さんからの無包装仕入れに徐々に切り替えを進めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自然農法で農業を行い、自社仕入れ野菜も地域農家さんと使用量と作付け計画を共有し、無農薬農法の生産野菜を虫食い、規格外品含め予定数は全量買取を行っている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃油はリサイクルし、生ゴミは養鶏に使い、カフェは古材や廃材、もらいもので作ったものです。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	旅館では地下水を活用し、上水は一切利用していない。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	資格は取得していません			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPリニューアル中5月末までにSDGsの取り組みを開示、環境情報を公開するようにします。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	2013年より旅館の屋根で太陽光発電、2017年ペレットストーブの導入を行っている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	果樹園の剪定木を活用し薪ストーブ、ピザ釜の薪に活用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営計画書の行動価値基準に汚職・贈収賄に関する規定を明記し、周知している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	価値判断基準として「マザーハート」母が子どもを想う気持ちで判断を行うとし、思考習慣として常々落とし込みをしている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標の取得はないが、特許法律事務所とは顧問契約を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の取り扱いについて規定を作成、公開し、管理をしている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	そのような商品の取り扱いがありません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	ビジネスパートナーとは、サポーター会や、オーナー会を定期的に開催していますが、SDGs勉強会等を通じてより倫理面、サプライチェーンのリスク管理を体系化したいと思います。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	厨房機器類でリスクの想定される製品に関しては、社内勉強会でデモを行ったり、サプラヤーに来ていただき説明会等を行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	社内共有グループ、掲示板を設置し、クレームや喜びの声を共有している。また、イノベーションカードを運用し、課題に関して、毎年約300項目程度の改善を行い続けている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	旅館で使用している野菜に関しては、無農薬無化学肥料栽培のものを地域の農家さんと計画生産にて行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	無農薬無肥料栽培のお米の一部は地域の子ども無料食堂に寄付している。また、田舎暮らし体験合宿では命をいただくBBQやキッズキッチンのプログラムを開催し、子どもたちに食べる意味を体験型で啓蒙している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	市の地方創生課と定期的に面談し、地域の課題解決に共に取り組んでいる。また商工会議所の議員、飲料部会の部長も兼任し、地域の課題解決に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	そば組合に参画し、耕作放棄地でのそばの生産に取り組んでいる。水芭蕉の会の活動にて地域の憩いの場の整備にも参画している。また、子ども無料食堂、地域イベント、スポーツ大会等20件程度、年間約20万円ほど協賛している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の農家さんと計画生産を行い、旅館･飲食店で使用している。また、地域で生産されたワインや自社農園で生産したプルーンを県内外のお客様に販売している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	年に1回の経営方針共有会と、月1回の社内勉強会で経営理念、目標、価値観の共有を行っている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	同業種の法令違反等の事例共有を行うことによって、コンプライアンスの遵守に努めている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長自らSDGs2030の公認ファシリテーターとなり(2020年4月予定)、全社員が社外のSDGs勉強会に参加し、社内外でゲームやセミナーを通じて情報の最新化に努める。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	サポーター会、オーナー会、行政との定例会、地域経営者との共同勉強会を通じて地域社会の課題解決に取り組んでいる。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	社長が死んだらMTGや、大地震が起こったらMTG、新型コロナ蔓延したらMTG等を行い、タスクリストの整備を適宜行っている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRに関しては、自然と取り組んでいるが、体系的･定期的になっていないので、方針書への項目追加、方針検討会の項目に追加したいと思う。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	地震、火災、疫病の蔓延に関してのリスク想定、対応行動についてはまとまっている。また消防訓練に関しては年2回消防士に来ていただき、研修を行っている。衛生講習は年1回。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	会社という概念が崩れると考えており、戦艦ではなく、船団を作るように、独立支援勉強会や、業務委託スキームを行い、独立者を排出･育成を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
松本つなぐ横丁の創出によるロスの少ない飲食店経営モデルの構築	つなぐ株式会社を共同出資にて立ち上げ、小規模飲食店を集めたインストア型の横丁を形成し、仕入れ業者様を選定・指定することにより仕入れにかかる燃料排出量の削減、全店舗から出た廃油のリサイクル、ペットボトルではなく瓶や樽の仕入れにより、CO2排出抑制に努めている。　また、集合することにより、1店舗あたりのメニュー数の絞り込みを行い、結果ロスの低減、高収益化を実現した。		2						8					13				17
ゴミの排出量低減への取り組み	旅館において、自販機の完全撤去、旅館・飲食店においてリユース箸への切り替えを行った。												12	13				
子どもたち向けの啓蒙活動	夢合宿、講演会の開催（大嶋啓介氏、高濱正伸氏）、NPOママの働き方応援隊（赤ちゃん先生とのコラボ、協賛）を行っている。				4													17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）